

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道39号（北海道横断自動車道網走線） 端野高野道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道北見市端野町字川向 至：北海道網走郡美幌町字高野			延長	14.3 km	
事業概要	<p>一般国道39号は、旭川市を起点とし、上川町、北見市、美幌町を經由し、網走市に至る延長124 kmの幹線道路である。</p> <p>端野高野道路は、北海道横断自動車道網走線の一部を構成する道路で、圏域中心都市の北見市と物流・観光拠点間の連絡機能の強化を図り、観光振興や地域産業の活性化に貢献するとともに、冬季災害に強い道路ネットワーク構築を目的とした延長14.3 kmの事業である。</p>					
H31年度事業化	R-1年度都市計画決定 (R-1年度変更)	R-1年度用地補償着手	R-1年度工事着手			
全体事業費	約480億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)	約3%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	11,900～13,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2(1.5) (残事業) 2.2(1.6)	総費用 (残事業)/(事業全体) 763/1,853億円 (事業費：597/1,571億円 維持管理費：166/282億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,665/2,161億円 (走行時間短縮便益：1,407/1,753億円 走行経費減少便益：210/336億円 交通事故減少便益：48/72億円)	基準年 令和3年		
感度分析の結果	事業全体及び残事業について感度分析を実施					
	【事業全体】交通量：B/C=1.02～1.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%）		【残事業】交通量：B/C=1.9～2.5（交通量±10%） 事業費：B/C=2.0～2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.1～2.2（事業期間±20%）			
事業の効果等	事業の必要性及び効果					
	<p>① 災害時のリダンダンシー確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害リスクが高まる中、災害に強い道路ネットワークとして横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul> <p>② 災害時の迂回損失の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、被災リスクが高まっており、災害による迂回損失、復旧活動、救援物資輸送等の観点から横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul> <p>③ 冬期交通障害時のリダンダンシー確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道央道通行止め時に迂回ルートとして利用され、オホーツク地域への代替機能強化や移動時間の均衡が図られる観点からも横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul> <p>④ 救急搬送の速達性・安定性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定走行による患者負担軽減や救急搬送体制確保の観点から横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul> <p>⑤ 物流の輸送効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定性、速達性及び安全性が高く、代替性や輸送効率の観点から横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul> <p>⑥ 周遊観光の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道内7空港の民営化を始めとする広域周遊観光の活性化の観点から横断自動車道の整備が期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	地域から頂いた主な意見等： 北見市、本別町など1市6町の首長等で構成される「北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。					

知事の意見：

「一般国道39号端野高野道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議ありません。

当該事業は、高規格道路網の構築による圏域中心都市の北見市と物流・観光拠点間の連絡強化により、観光振興や地域産業の活性化に貢献するとともに、冬季災害に強い道路ネットワークの構築に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。

なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・令和2年1月 北海道内7空港民間運営開始
- ・令和3年3月 北海道横断自動車道 占冠IC～十勝清水IC4車線化等事業許可

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成31年度に事業化して、用地進捗率0%、事業進捗率約3%となっている。

(令和3年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等の変更はないが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

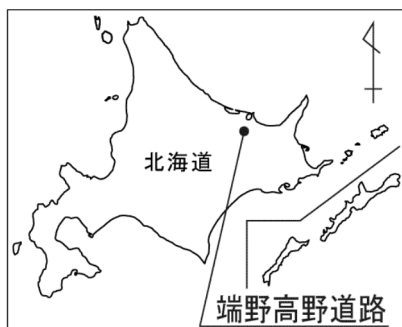
対応方針

事業継続

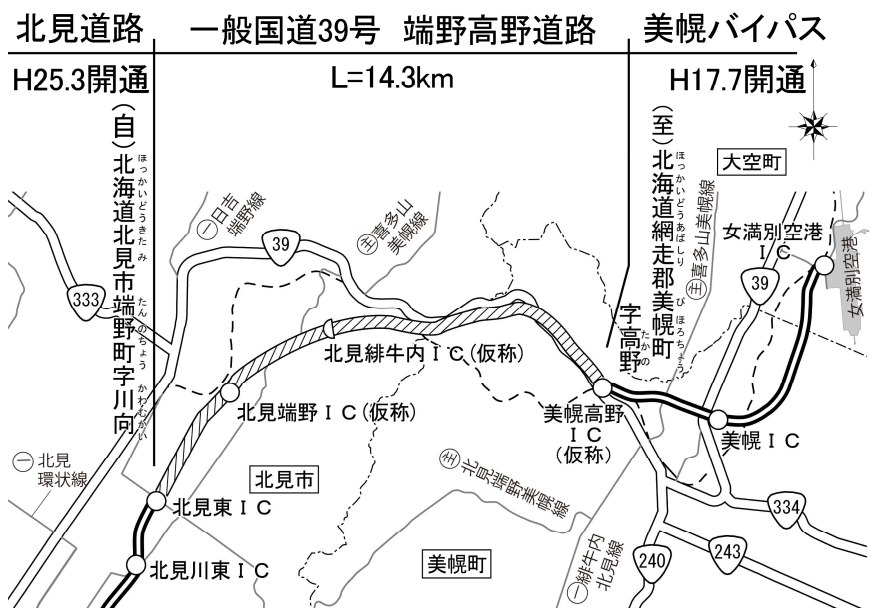
対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡 例	
	開 通 区 間
	再 評 価 区 間



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。